

南草津エリアまちづくり推進ビジョン（南草津ビジョン）（案）にかかる
パブリックコメントの実施結果について

実施結果

- 1 実施期間 令和3年7月10日（土）から令和3年8月10日（火）まで
 2 意見者数 1人
 3 意見総数 3件
 4 意見の反映件数 1件

周知方法

広報媒体	実績
原案の配架	配架場所（閲覧者数） ・都市計画課（0人） ・情報公開室（0人） ・草津市立図書館（0人） ・南草津図書館（0人） ・アーバンデザインセンターびわこ・くさつ （UDCBK）（0人）
資料送付	送付数：0部
市ホームページ	アクセス数：423件（8月11日確認）
広報紙	7月号
資料提供	6月25日付け
その他（市フェイスブック）	7月10日付け

結果公表の日時

- (1) 公表日時 【ホームページ】 9月下旬
 【広報紙】 10月号
- (2) 公表方法
 ホームページ、広報紙

南草津エリアまちづくり推進ビジョン（南草津ビジョン）（案）

提出された意見と市の考え方

No	意見（ページ数）	市の考え方
1	<p>19 ページ（図 3-1） 50 ページ（図 参考-9） 51 ページ（図 参考-10）</p> <p>市街化区域や住宅ゾーンの図が、古かったり新しくしたりする。</p> <p>具体的には湖州平付近だけが市街化区域になっているものと、老上小学校周辺など湖南幹線以東の広範囲が市街化区域になっているものが混在している。今後のビジョンということを考えると新しい方に統一してはどうか。</p>	<p>市街化区域や住宅ゾーンについて、ビジョン内の図を最新のものに修正、統一しました。</p> <p>（修正図） 概要版 図 3 19 ページ 図 3-1 51 ページ 図 参考-10</p>
2	<p>26 ページ（オ. 自転車利用環境の改善）</p> <p>J R 南草津駅西口における駐輪場の確保が挙げられている。この必要性は同意するが、ソフト面での施策や南草津駅東口駐輪場の利便性確保も必要だと考える。</p> <p>現状として民営の西口駐輪場では、玉川学区などの東口側から利用している自転車も相当多く、普段観察している範囲では1/4は超えている可能性が高い。駅からやや距離のある市営の東口駐輪場に比べて、エレベーターで駅直結の西口駐輪場の方が非常に便利で、価格差もほとんどないからではないか。</p> <p>新しい西口駐輪場を整備しても、この点を踏まえずに整備すると、東口側からの利用者で新しい西口駐輪場が埋まり、西口側では引き続き駐輪場不足</p>	<p>J R 南草津駅東口にあります市営の南草津駅自転車自動車駐車場（以下「東口駐輪場」という。）につきましては、民営の南草津駅西口自転車駐車場（以下「西口駐輪場」という。）よりも駅までの距離はありますが、東口駐輪場から駅までの通路にはシェルターを設置しており、雨に濡れることなく東口駐輪場から駅まで移動できることから、西口駐輪場と同様に利便性の高い駐輪場であると考えています。</p> <p>また、東口駐輪場の料金につきましては、西口駐輪場の料金設定を踏まえ設定しているところではありますが、今後、駅周辺における駐輪場整備等により、自転車利用環境に変化が生じるようであれば、それらの状況も踏まえた中で、料金設定の見直しについても検討する必要があります。</p> <p>また、J R 南草津駅の駐輪場整備にあ</p>

	<p>になるケースが起これると予想できる。その結果、西口側の利用者が東口駐輪場へ向かうケースが増え、JRをまたぐ道路が不足している現状をより悪化させてしまう。</p> <p>対策として、利便性に応じて駐輪料金に差をつけることや、東口駐輪場の利便性を上げる（例えば東口駐輪場の近くに南草津駅南口改札を整備する）ことも考えてはどうか？</p>	<p>たりましては、全体での必要数を検討した上で、東口・西口両方で確保してまいりたいと考えています。</p>
3	<p>27ページ(ク.都市計画道路山手幹線の整備促進、ケ.都市計画道路の早期実現)</p> <p>特定の都市計画道路だけが記載されているが、これにより小規模な交通改善や渋滞対策（例えば、既存道路や交差点の改良、信号の整備）が行われなくなるのではと危惧している。</p>	<p>本ビジョンでは、南草津エリアが抱える課題を踏まえ、将来像・目標を設定し、JR南草津駅周辺における交通渋滞の解消や南草津エリア内の安全性・利便性の向上を図るため、南草津エリア内を結ぶ道路環境の整備を基本方針として掲げています。</p> <p>本ビジョンの目標年度である令和12（2030）年度までの目標達成に向けて、まずは、基幹道路の整備が不可欠であることから、特定の都市計画道路の整備を掲げているところです。</p> <p>小規模な交通改善や渋滞対策につきましては、当エリアを含む市全体において取り組む必要があり、令和4年1月策定予定の次期草津市都市計画マスタープランにおいて整理してまいります。</p>